

平成 24 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 アーバンライフ株式会社
代表者名 代表取締役社長 許 斐 信 男
(コード番号 8851 大証第二部)
問合せ先 取締役 山 本 敏 之
(TEL 078-452-0668)

特別利益、特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日付で公表いたしました『『アーバンライフ株式会社 事業再構築（再建）計画』の株式会社大阪証券取引所への提出について』に記載のとおり、事業再構築の一環として、分譲マンション事業からの一時撤退、それに伴う分譲マンション事業用地売却等による特別損失の計上を見込んでおります。

また、あわせて本日付で公表いたしました「債務免除等の金融支援に関するお知らせ」に記載のとおり、親会社である森トラスト株式会社からの債務免除による特別利益を計上する予定となりました。

これらの状況および最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 5 月 15 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

当社は、本日付で公表いたしました「債務免除等の金融支援に関するお知らせ」に記載のとおり、当社親会社であります森トラスト株式会社からの借入金の一部につき、同社に対して債務免除を要請し、本日、30 億円の債務免除を受けることで合意に至りましたので、第 3 四半期会計期間におきまして特別利益 30 億円を計上する予定です。

2. 特別損失の計上について

本日付で公表いたしました『『アーバンライフ株式会社 事業再構築（再建）計画』の株式会社大阪証券取引所への提出について』に記載のとおり、分譲事業から一時撤退し、それに伴い分譲マンション事業用地として当社が保有している開発用不動産等を売却することといたしました。かかる売却等による損失について、事業再構築に係る特別損失として第 3 四半期会計期間におきまして約 38 億円の計上を見込んでおります。

3. 平成 25 年 3 月期 通期業績予想の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

(1) 修正の内容

【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	2,210	420	280	265	11.79
今回修正予想 (B)	2,315	445	295	△505	△22.47
増減額 (B - A)	105	25	15	△770	
増減率 (%)	4.8	6.0	5.4	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	4,981	356	158	76	3.39

【個別】

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	1,220	170	200	8.90
今回修正予想 (B)	1,190	185	△560	△24.91
増減額 (B - A)	△30	15	△760	
増減率 (%)	△2.5	8.8	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	3,959	65	34	1.54

※連結・単体ともに今回修正予想における 1 株当たり当期純利益については、平成 24 年 9 月 30 日時点の発行済株式総数（自己株式控除後）を基に計算しております。

(2) 修正理由

連結業績予想につきましては、連結損益において営業外収益に計上予定のものを売上高に計上することとなったため、売上高が増加しておりますが、当該事項についての収益における影響はございません。その他、営業利益、経常利益につきましては、原価低減等による収益向上を受けて前回予想数値をそれぞれ 26 百万円、15 百万円上回る見通しとなりました。当期純利益につきましては、上記 1 に記載の特別利益 30 億円の計上および上記 2 に記載の特別損失約 38 億円を計上すること等により前回予想数値から 7 億 70 百万円減少する見通しとなっております。

また、個別業績予想につきましては、賃貸事業、その他事業において一部の物件で解約、撤退が発生し、売上高について前回予想数値より 30 百万円の減少が見込まれるものの、売上原価についても同程度の減少が見込まれるため収益への影響はほとんどありません。一方でその他の賃貸物件における原価低減等により、経常利益において前回予想数値を 15 百万円上

回る見通しとなりました。当期純利益につきましては、上記1に記載の特別利益30億円の計上および上記2に記載の特別損失約38億円を計上すること等により前回予想数値から7億60百万円減少する見通しとなっております。

※ 本資料に記載されている業績等の予想数値につきましては、本資料の発表日現在において得られた入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上